

総会議案書



パワーコンディショナーの構造を学ぶ自然エネルギー学校参加者（2014年9月21日 小諸エコレッジ）

2015年通常総会

[第10期：2014年6月1日～2015年5月31日]

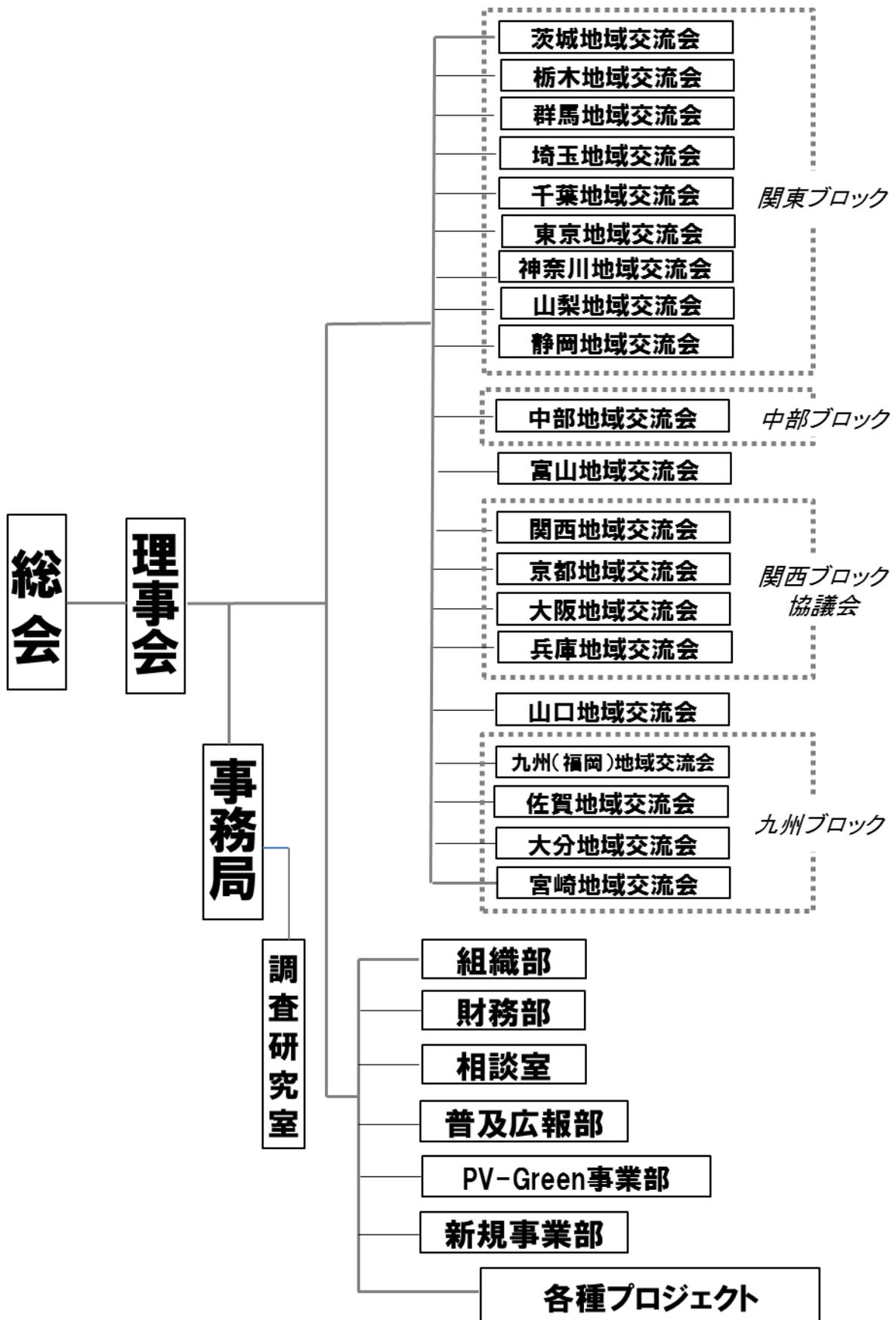
2015年7月26日（日）13：30～

文京シビックセンター4F シルバーホール

目次

組織図	P. 3
はじめに	P. 4
1号議案 2014年度活動報告	P. 5
(1) 重点目標	P. 5
(2) 全体活動一覧	P. 6
(3) 各地域交流会活動報告	P. 7
(4) 各専門部会活動報告	P. 14
2号議案 2014年度決算報告（別紙）	
3号議案 2015年度活動方針	P. 15
(1) 大方針	P. 15
(2) 活動面での重点目標	P. 15
(3) 組織面での重点目標	P. 16
(4) 各地域交流会活動方針	P. 17
(5) 各専門部会活動方針	P. 21
4号議案 2015年度予算（別紙）	
5号議案 定款改定	P. 23
6号議案 役員改選 & 評議員選任（別紙）	

太陽光発電所ネットワーク (PV-Net) 組織図



はじめに

2 年前にスタートした固定価格買取制度（FIT）は一部問題を抱えながらも、国内の再生可能エネルギーを大きく飛躍・充実させてきました。2016 年 4 月から施行される小売電力全面自由化を控え、その期待感はさらなる高まりを見せていますが、昨年 9 月、九州電力から突如突き付けられた接続保留問題、いわゆる九電ショックは、再生可能エネルギーの勢いに水をさす形となり、現在も混乱は続いています。

加えて、政府から出された長期エネルギー需給見通し（案）では、福島原発事故の教訓を組むことなく原発を復帰させる筋道が描かれており、2030 年時点の原子力発電比率は 20～22%に設定されました。一方、普及拡大を求められ、期待されていた再生可能エネルギーについては、わずか 22～24%に留めるとして、これまでの見込みを大きく後退させる様相となっています。

このような状況のなか、「太陽光発電の価値と質を高める活動の展開」を目指す私たちは、市民共同発電所の建設やそのサポートに携わることから、消費者の視点に加えて、地域におけるエネルギー生産者としての視点も加味し、数の普及だけでなく、太陽光発電を基にしたソーラーライフの定着に寄与する活動を行ってきました。また目前となった電力自由化と発送電分離への対処も、本年 4 月 4 日に開催した大集合イベントや、それに続く勉強会などを実施することで、新たな展開の大地づくりを行っています。

13 年目を迎えた PV-Net は、会員の高齢化や PV 健康診断の復旧の遅れ、財政基盤の確立がなかなか図れないなど、さまざまな課題が表面化しています。組織としての抜本的な対策に取り組むため、その準備として、現在、第三者による組織診断を取り入れ、センター、地域交流会を含めた組織基盤の見直し（自立と連携）を進めています。また、長年の懸案事項であった PV 健康診断も、ようやく再開にこぎつけるところに来ています。

2015 年 7 月 1 日

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

共同代表理事 藤井石根 / 都筑 建

1 号議案 2014 年度活動報告

(1) 活動面での重点活動

2014 年度の重点課題をふりかえると、1 年間で大きな成果は出せなかったものの、継続的かつ発展的に展開していく活動として捉えれば、次年度の発展につながるための基礎を築けたと考えています。

1 太陽光発電のシステムメンテナンスの徹底・拡大

第一目標に掲げていた PV 健康診断・推定発電量の年度内の復旧は叶いませんでしたが、確実に前進しています。一方で近隣発電所の発電量比較については、神奈川地域を中心に、中部地域、関西地域で講座を開設するなどの取り組みが実施され、近隣比較の有用性が広まるとともに、その体験を通して会員獲得につなげるという事例をつくることができました。また、10 年を超える太陽光発電システムの発電量調査は 2015 年度に獲得した助成金を活用して実施することになっていきます。非常時（火災、災害時）に太陽光発電システムを正しく取り扱うための情報発信については、埼玉地域が中心となり、他団体と協働で取扱いパンフレットを作成し、埼玉地域を中心に情報発信を開始できました。

発電システムの維持メンテナンス講座は、昨秋、小諸エコビレッジにて開催し、ご好評をいただきました。カリキュラム、テキストを充実させ、以後も継続していきます。これらの活動は 2015 年度も引き続き重点活動として実施してきます。

2 ソーラーライフの提唱・普及

太陽の恵みを基盤とした豊かな生活を提唱するソーラーライフ活動として、各種講座の開催、グリーン電力証書の活用強化、地域発電所のサポート等を実施してきました。

地域やセンターで実施してきた独立型太陽光発電講座は各地で高い人気となりましたが、導入後の使い方に工夫がいることから、相談室では独立型発電に関する専門サポートを開始。今後、市民が本格的に蓄電型システムを活用していくための、後押しとなる第一歩を踏み出すことができました。

地域発電所のサポートとしては、昨年 9 月に野田村だらすこ発電所の 2 号機が設置され、香川県にも県内初の市民ファンドによる共同発電所が実現しました。

また、今年度初めて総会、大集合イベントにて会員さんが生産した農作物や農産物加工品等の販売を実施しました。太陽の恵みを基盤とした豊かな生活、会員さん同士のつながりなどの観点から、ソーラーマルシェとして今後も随時開催していく予定です。

(2) 組織運営面での重点活動

組織面での重点活動として地域とセンターの連携強化を目指し、事務局メンバーが地域世話人会、ブロック会議に積極的に参加し、情報交流に努めてきました。PV-Net 活動の基盤をなすセンターと地域活動の連携が会の発展に欠かせないことから 2015 年も継続し、情報連携システムの構築を目指していきます。会員拡大についても引き続き、重点課題としていきます。

(3) 全体活動一覧

センター主体の取り組み・イベント

2014 年 6 月 ソーラーシェアリング見学会ツアー-in 千葉

7 月 再生可能エネルギー世界展示会（東京ビックサイト）

8 月 専修大学インターン生受け入れ

9 月 自然エネルギー学校 in 小諸エコビレッジ祭り

10 月 再生可能エネルギー系統接続保留問題へのアピール（訴え）と提言

おとなの再エネセミナー「太陽光パネル組立ワークショップ」（みらい館大明）

11 月 市民ソーラーワークショップ（岩手県久慈市）

12 月 市民ソーラーワークショップ（岩手県一関市）、エコプロダクツ 2014（東京ビックサイト）

2015 年 1 月 2014 年度上半期活動報告配布 & 財政基盤強化のための寄付のお願い

2 月 NPO マーケティングセミナー「草莽塾成果報告会」（日本財団）

4 月 太陽光発電所長大集合イベント 2015『電力自由化 ～社会はどう変わる・市民はどう関わる？～』
アースデイ東京 2015（代々木公園）

5 月 うさんごやま未来発電所市民ファンド募集開始、野田村自然エネルギー学校

通年 小諸エコビレッジの運営

助成事業、受託事業

葛飾区グリーン電力証書化事業（東京都葛飾区【継続案件】）、大垣市グリーン電力活用推進事業（岐阜県大垣市【継続案件】）、サービス грант（ウェブサイト制作）、Panasonic NPO サポートファンド（組織診断）、地球環境基金（太陽光発電のリユース市場形成による循環型エネルギー社会の構築）

各種委員等

太陽光発電システム標準化総合委員会、九州ソーラーネットワーク（SONEQ）、太陽光発電の直流電気安全基準策定委員会、白河市マッチング事業課題検討委員会、世田谷区自然エネルギー活用促進地域フォーラム、地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業等審査会委員、「エナジー・ストレージ・サミット・ジャパン」モデレーター

データ提供

長期利用パワーコンディショナーの現状調査（提供先：太陽光発電技術研究組合）

メディア出演、掲載

エコロジーオンライン、家電 Watch、環境ビジネス、greenz.jp、こがねいコンパス、省エネ最新ニュース、新建ハウジング、創省蓄エネルギー時報、タイナビニュース、月刊宝島、地球のココロ、プレジデント、東北マニファクチュール・ストーリー、毎日新聞、リラクオーレ

(4) 2014 年度各地域交流会活動報告

茨城地域交流会

① 世話人会の毎月定例化が定着。複数の新メンバー参加

日程	備考
2014/4/26	本部事務局からも参加
6/28	
7/19	PV-Net 通常総会。 茨城から田中、菊池、榎本 3 名が出席
8/23	
8/30、31	銚田にて静岡・千葉・茨城による合同合宿
9/27	
11/01	静岡からも 2 人が出席
12/06	
2015/1/17	
2/21	
3/28	
4/25	

② シェアソーラー企画における種々の問題点について分析・検討

制度・規制	的確な見通しの必要性
建設地	農地は難しい
人	それなりの能力を有し、 時間を取れる人が必要

③ 各世話人の発電実績を集計

$$\text{利用率} = \frac{\text{発電量}}{\text{稼働日数} \times 24 \times \text{定格出力}}$$

群馬地域交流会

群馬地域交流会は、世話人会の再建と新規事業および、地域財政の確立に向けた調査研究を進めることを主眼として活動を計画しました。しかしながら、すべての基礎となる世話人会の再建は、世話人の高齢化、生活環境の変化といった状況により改善することができず、活動は停滞してしまいました。

埼玉地域交流会

2013 年度の主な活動は以下のとおりです。

日程	内容	日程	内容
5/17、18	くまがやエコライフフェア参加 (ポスター展示、ソーラーキット組み立て)	10/12	くまがやチャオざねまつり
6/7	PV-Net 埼玉 メガソーラー施設見学会	10/18	越谷市レイクタウンエコウィーク
6/9	越谷市大袋幼稚園で環境学習会	10/18	和光市・越戸川まつり
7/21	ハウスフォーラムふじみ野 太陽光発電フェア	10/20	川口市太陽光発電相談会参加
8/23	川口市太陽光発電相談会	11/9	和光市民まつり
9/12	川口市地球温暖化防止活動センター 相談会	11/15	イオン大宮店エコ教室開催
10/1	越谷市大袋幼稚園市民共同発電所 点灯式	3/28	埼玉地域交流会フォーラム
10/11	東松山市環境みらいフェア		

千葉地域交流会……11 ページ参照

東京地域交流会……11 ページ参照

神奈川地域交流会…12 ページ参照

山梨地域交流会……12 ページ参照

静岡地域交流会

1. 世話人会は月 1 回を目指しましたが、9 回の開催に終わりました。課題であった、中部・西部での開催については、西部では開けなかったものの、中部の静岡市で 2 回開催したことは前進。世話人が増えたことによります。
2. 富士、裾野、沼津各市の環境フェアに出展しましたが、自治体がこの種の催しを縮小する傾向があり、減少しています。
3. 手作り市民共同発電所については、3 号機を伊豆の国市、4 号機を裾野市、5 号機を沼津市、6 号機を長泉町に建設。いずれも「合同会社静岡市民共同発電所」として、出資借入れにより建設運営しています。3 号機には、バッテリーと合わせて夜間でも使える無料のコンセントを設置し、近所の方の便宜を図っています。5 号機の共同発電所は、「市民農園」として、家庭菜園ソーラーシェアリング方式としました。川根地区のまちおこしの一環としてはじめた、ブルーベリー畑への共同発電所づくりを支援する取り組みを進めています。
4. 鉛バッテリーの再生技術を使ったバッテリーの活用と、オフグリッドの勉強会も会員が中心となり始まっています。その一例として、6 月 20 日（土）に浜名湖国際頭脳センターで開催された「バッテリー再生・オフグリッドへの挑戦」では、参加者から再生バッテリーに関する質問が多数あがるなど、関心の高さを示しました。再生バッテリーの購入希望の声には、「PV-Net 会員に参加することで、通常の 1 割引で販売する予定であること」、災害時に簡易に使用できる発電システムを教えてくださいとの質問に対しては、「PV-Net 静岡で『電源坊や』の名称で販売しているものがある」ことを説明しました。
5. 小口電力の自由化を見越したフォーラムを、沼津市、静岡市、掛川市で開催しました。

中部地域交流会……13 ページ参照

京都地域交流会

2013 年度、2014 年度と、残念ながら PV-Net 京都としての活動はできていません。原因としては、世話人代表である中村の加齢に伴う意欲減退、企画力減退によるところが大きいです。常に代表として、責任を感じ、焦りはあるものの具体的な企画や踏み出しができずに、悶々としたままこの 2 年を過ごしています。一方で、この 2 年の間に、PV-Net 関西が関西ブロック協議会を創設し、都道府県の別の活動から、関西一円の活動に変遷してきました。代表に奈良の西田さん、事務局長に森岡さん、大阪地域を南里さん、兵庫地域を北方さん、京都を中村、そして滋賀を三石さんがまとめ、この 6 人を中心に 2 年間は協議会を開催してきました。昨年度は、約 2 か月に一度、2015 年は都筑代表が関西を訪れる際に、重要課題を共有する会議になっていきます。最近の議題としては、① 健康診断のシステム修復の進捗状況説明 ② 都筑代表の組織再建案、財政再生案 ③ 地域活動とセンター事務局体制 などについて話し合われました。

関西ブロック協議会（関西地域交流会 & 大阪地域交流会）

関西地域には現在 4 つの地域交流会があり、その 4 者で主に相互連携・情報共有を図る「関西ブロック協議会」を構成している。メンバーのうち、兵庫地域交流会は自立的で活発な活動が行われているが、関西地域交流会と大阪地域交流会は共同・連携して実施する活動が多く、ここでは合同の報告とする。

【関西ブロック協議会】

1. 関西ブロック会員交流会

関西地域交流会の発足から恒例となっている「会員交流会」を意見交換、懇親の場とされる協議会の最も重要な事業の一つとして、各交流会の代表や世話人さんの協力のもとに実施した。また、会員が一同に会する機会を活かし、年間目標にある健康診断について、一般市民が参加できる「近隣比較」のセミナーを開催（講師：神奈川地域交流会・古峰さん）。併せて、会員の日常的な取り組みの紹介と懇親を行った。

2. 定例協議会

関西ブロック協議会は、関西地域の各交流会の共通の課題や連携強化などを目的に発足した。今年度も隔月で定期的に誰もが参加できる話し合いの場を設けてきた。参加者の大半は世話人や代表となる。主なテーマは会の再生や、健康診断の早期復旧や代替案など。気象協会から講師を依頼し、同会の発電診断システム「PV-DOG」の学習会を行った。

【大阪地域交流会】

1. 豊中市民環境展出展

豊中市の環境アジェンダと NPO が主体となって行っている「豊中市民環境展」に 2 日間のパネル展示を行った。小学生の校外学習にも位置づけられ、PV-Net の広報の場としても利用させていただいている。

2. エコ緑日パネル出展

「エコ緑日」は、大阪市内の鶴見緑地で開催される大規模な環境イベント。パネル展示を主体に参加エントリーして準備したが、あいにくの天候不良で中止に。テーマは、非常時等の太陽光発電の自立運転。紹介パネルなどをこしらえ、屋根設置ばかりでなく多様な取り組み方があることなどを紹介する予定だった。

3. 大阪府・合同防災訓練会場パネル出展

大阪府を 4 ブロックに分けて毎年持ち回りでそれぞれの地域の自治体や各種団体と大阪府、自衛隊、気象関係者、近畿地方整備局などが行う合同防災訓練会場でのパネル展示を行った。例年、NPO である防災士会との共同参加。今年は万博公園（吹田市）が会場となった。テーマは、エコ緑日と同様、非常時の太陽光発電の自立運転の活用を訴えた。

4. その他

- ① 会員が関係するイベント会場で、ソーラークッカー講習を実施。親子の参加があった。
- ② 大阪府の助成関係部署からの紹介で、他団体を含むソーラー発電に関する大阪での活動状況や府の施策展開（屋根貸し等）に向けての意見、課題などのヒアリングを受けたが、その後のフォローができていない。

5. 助成金獲得活動

これらの活動の費用は、大阪府からの助成（50%）申請でまかかった。半額は自己調達となる。

《課題》

- ・ 会員の高齢化や多忙などを理由に自発的な提案（発言）はほとんどなく、積極的な参加を得られなくなっている。世話人も同様の理由で先細り状態にある。
- ・ オープンな講演等でないと助成金は獲得できない。しかし、従来のフライヤーやホームページだけでは反応が薄く、関連団体へ広報を依頼しても無反応。事業に対しての我々が考えるニーズと関心は必ずしも一緒ではなく、これを乗り越える知恵がいる。

- ・ 資金助成金獲得のための知恵も必要。3年連続で申請・採択されると一区切りとなり、継続的な獲得ができない。他の助成金を探しても、「活動が主に当該自治体市民を対象とする」「自己資金があること」「活動が継続されていること」などの要件が課される。最も困難なのは、自己資金が枯れると、助成金自体獲得できなくなることである。
- ・ 「魅力的な企画」「資金」「人材（ボランティアスタッフ）」の3要件が必要。どれもみんなで知恵を出せる状態でないと実行が難しい。

山口地域交流会

宇部市地球温暖化対策ネットワークとともに、ミニソーラーカー工作教室を7月と11月の2度実施しました。山口地域としての取り組みはありませんでした。

九州地域交流会（&福岡地域交流会）

大分県や熊本県大津町からのセミナー依頼に対して、窓口として、事務局へのコーディネートを行いました。また、長崎県松浦市からは自治会発の太陽光発電事業についての相談があり、意見交換を実施しました。

宮崎地域交流会……13 ページ参照

兵庫地域交流会

※全く達成できなかった：1 達成できないことが多い：2 最低限達成できた：3 かなり達成できた：4 十分達成できた：5

◆2014年度の活動の振り返り(Plan)、(Do)、(Check)		部会・地域名：兵庫地域交流会	記入者：河原一郎	作成日：2015/5/5							
2014年度の活動目標や活動計画(Plan)		担当・該当企画など(Do)		各項達成度(Check)							
○で囲む…※											
【活動の目標】 太陽光発電を主とした風力、波力、小水力、バイオマス等の再生可能エネルギー、燃料電池等の新エネルギーの普及を一般県民に訴え、CO2オフセット、ひいては地球温暖化防止に貢献すべく、有志を集めて勉強会を立ち上げ、一般県民の意識高揚を図る。				1・2・3・4・5							
【活動計画1】 再生可能エネルギーの普及のためのフォーラム開催	担当：世話人	11/23 「自然エネルギーフォーラム」 講師：兵庫県副知事金澤和夫氏、 自然エネルギー市民の会代表和田武氏		1・2・3・4・5							
【活動計画2】 再生可能エネルギー、新エネルギーの普及をテーマとした勉強会、講演会、見学会を開催	担当：世話人	7/16 「小水力発電システム勉強会」 講師：川崎重工 齊藤伊知郎氏 9/28.29 「地熱エネルギー活用事例見学会」 見学先：新温泉町薬師湯 ①温泉パイナリー発電施設 ②温度差発電施設		1・2・3・4・5							
【活動計画3】 兵庫地域交流会会員を中心に、太陽光共同発電設備設置	担当：世話人	11/1 「水素エネルギー講演会」 講師：川崎重工 舟橋公廣氏 2/18 「小型風力発電システム見学会」 見学先：小型風力発電機の製造メーカー中西金属工業		1・2・3・4・5							
【活動計画4】 太陽光発電設備の設置相談を受ける	担当：世話人	兵庫地域会員の有志18名出資 4/11発電開始		1・2・3・4・5							
【活動計画5】 太陽光発電の発電に関する情報提供	担当：世話人	ひょうご環境創造協会再生可能エネルギー相談 支援センターの現地相談制度にコンサルタントとして協力 ①共同ソーラー発電所発電状況報告 ②異常気象による発電量への影響情報提供 ③兵庫地域交流会のHP「我が家の発電所紹介 コーナー」による発電情報提供 ④Facebookによる開催イベント報告、情報提供		1・2・3・4・5							
各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題(Check)											
(課題)①地球温暖化防止活動への若い年齢層の参加が少ない ②イベント開催における案内らし・資料作成、参加おしらせの通信費、世話人の交通費等、活動資金不足 (課題に対する解決策) ①神戸大学大学院海事科学研究所 井川博雅准教授に指導要請中 ②安定した収入源としての収益事業が必要											
活動記録(*概要を書き込み、全体像を記録してください)(Do)											
6月 ・世話人会(13日)	7月 ・世話人会(16日) ・小水力発電勉強会開催	8月 ・世話人会(11日) ・PVResQ講習会に参加	9月 ・世話人会(21日) ・地熱エネルギー見学会開催	10月 ・世話人会(19日)	11月 ・世話人会(13日) ・水素エネルギー講演会開催 ・自然エネルギーフォーラム開催	12月 ・世話人会(13日) ・垂水処理場「こうべWエコ発電」見学会参加	1月 ・世話人会(24日)	2月 ・世話人会(18日) ・小型風力発電見学会開催	3月 ・世話人会(25日)	4月 ・世話人会(22日)	5月 ・世話人会(27日) ・兵庫地域会員総会開催

千葉地域交流会

◆2014年度の活動の振り返り (Plan)、(Do)、(Check)		部会・地域名: 千葉	記入者: 宮下	作成日: 2015/05/11							
2014年度の活動目標や活動計画 (Plan)		担当・該当企画など (Do)		各項達成度 (Check)							
				○で囲む・・・※							
太陽エネルギー&省エネフォーラム(八千代市)地域フォーラムの開催(自治体との連携)		新美、宮下/参加者50名で盛況だった。		1・2・3・4・5							
世話人会		9回開催		1・2・3・4・5							
自然エネルギーを広めるネットワークちば(Renet Chiba)との連携		宮下/月定例会に9回参加。イベントにも参加。		1・2・3・4・5							
市民発電所づくりへの協力(市民エネルギーちば合同会社への協力)		宮下・平間/ボランティアで発電所建設に参加		1・2・3・4・5							
イベント出展 エコフェアいちはら(市原市)		平間/荒天のためイベント中止で出展せず		1・2・3・4・5							
イベント出展 浦安市環境フェア(浦安市)		團		1・2・3・4・5							
イベント出展 エコメッセ2014 in ちば		宮下		1・2・3・4・5							
イベント出展 エコプロダクツ2014		本部事務局が担当のため千葉としては出展せず		1・2・3・4・5							
イベント出展 アースデイちば2015		宮下		1・2・3・4・5							
ポスターセッション参加		新美/環境シンポジウム2014千葉会議		1・2・3・4・5							
他団体勉強会等の講演		新美/エコ学入門太陽光発電のイロハと省エネ・節電のABC(なでしこカンパニー)、「住まいの省エネ&節約講座」(自然エネルギーを広めるネットワークちば)へ講師派遣		1・2・3・4・5							
職業能力開発促進センターへ講師派遣		平間/「住宅エコ電気設備施工」講座、「太陽光発電セミナー」講座、高度ポリテク「パワーマネジメント科」		1・2・3・4・5							
その他		宮下、新美/「白井再生可能エネルギー協議会」「流山市太陽エネルギー活用センター」「温暖化防止印西」と打ち合わせ		1・2・3・4・5							
各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月 ・浦安市環境フェア ・PV-Net関東ブロック会議 ・Renet Chiba 定例会	7月 ・世話人会 ・ご当地電力講座 ・PV-Net総会 ・Renet Chiba 定例会	8月 ・世話人会 ・ポリテク講師(住宅エコ電気設備施工)	9月 ・世話人会 ・エコ学入門講師 ・Renet Chiba 定例会 ・エコマッセ2014 in ちば 出展	10月 ・世話人会 ・Renet Chiba 定例会 ・神奈川地域交流会見学会 ・エコマッセ2014 in ちば フォーラム	11月 ・世話人会 ・ポリテク講師、高度ポリテク講師 ・Renet Chiba 環境シンポ2014千葉会議 ・住まいの省エネ&節約講座 講師	12月 ・世話人会	1月 ・Renet Chiba 定例会	2月 ・世話人会	3月 ・世話人会 ・ポリテク講師 ・Renet Chiba 幹事会	4月 ・Renet Chiba 定例会	5月 ・世話人会 ・アースデイちば

※全達成できなかった: 1 達成できないことが多い: 2 最低限達成できた: 3 かなり達成できた: 4 十分達成できた: 5

京地域交流会

◆2014年度の活動の振り返り (Plan)、(Do)、(Check)		部会・地域名: 東京	記入者: 高柳	作成日: 2015/6/7							
2014年度の活動目標や活動計画 (Plan)		担当・該当企画など (Do)		各項達成度 (Check)							
				○で囲む・・・※							
地域密着型ソーラー普及事業モデルづくり		地域の市民団体と連携し、ソーラー啓発活動と、市民共同発電事業、個人住宅設置支援事業を進める		1・2・3・4・5							
ソーラ普及のためのベランダ発電講座と地球温暖化防止講座の実施		各地域のNPOと連携したPVベランダ発電講座と地球温暖化防止講座をセットに実施し、啓発活動を行った		1・2・3・4・5							
活動PR・会員拡大		地域のイベントに積極参加しPV-Netの活動を対外的にPRし、会員を拡大する		1・2・3・4・5							
組織活性化		会員の要望に沿った企画をフォーラム東京等で実施し会員のコミュニケーションを強化する。		1・2・3・4・5							
地域組織との連携強化		各地の商工会議所などとも連携を図り、宣伝掲載や活動支援などで財政支援を図る。		1・2・3・4・5							
各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
<ul style="list-style-type: none"> ・東京では自宅に屋根を持っていない方が多いためベランダ発電講座はどれも好評でかつ、PVIに興味を持っている方が多いことを実感できた。これを軸に興味ある方にPVライフを紹介すると共に地球温暖化防止活動をさらに活性化できると考える ・市民共同発電所設置支援はかなりの実績を残すことができた。これを推進することで地域交流会としての財政安定化が図れることも予想できる。来期は市民共同発電所設置支援だけでなく、個人住宅設置支援のスキームを確立、推進することで、さらなる地域活動の活性化を図れると考える。 ・次年度は電力自由化もあり、これを普及させるために地域で行えることを計画することも必要と考える。 											
活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月 6/6 6/7 エコライフフェア	7月 7/8 世話人会	8月 8/1 RE2014	9月 9/11 世話人会	10月 10/1 世話人会	11月 11/5 世話人会	12月 12/9 世話人会	1月 1/13 世話人会	2月 2/7 世話人会	3月 3/1みたかベランダセミナー	4月 4/1 世話人会	5月 5/3 世話人会
6/10 世話人会	7/30 7/31 RE 2014	8/6 世話人会	9/15 日野ベランダセミナー	10/13 小平ソーラー	11/8 11/9 三鷹 NPOセミナー		1/16-1/18 小平ベランダセミ	2/22 こだいらソーラー点灯式	3/7 世話人会	4/4 大集合イベント	
	7/18 市民電力連絡会		9/13 小平環境フェスタ	10/19 むさしの環境フェスタ	11/20 市民発電連絡会				3/14 大田区環境フォーラム	4/19 アースデイ	
	7/19 総会受付			10/25 豊島区大目小フォーラム	11/29 武蔵野ベランダ工作						

市民発電サポート: 三鷹・小平・武蔵野・八王子・東大和・国立・練馬

神奈川地域交流会

◆2014年度の活動の振り返り (Plan)、(Do)、(Check)		部会・地域名: 神奈川	記入者: 横谷 公雄	作成日: 2015/6/29							
2014年度の活動目標や活動計画 (Plan)		担当・該当企画など (Do)									
		○で囲む・・・※									
1) 会員へPVカルテの登録と月別発電量の記録と登録を勧める。		PV健康診断が回復せず、会員への近隣比較を推奨する		1・2・③・4・5							
2) 県内で開催される各種環境イベントに参加して、太陽エネルギーの普及啓発活動を行う。		PVカルテの登録を促すも、伸び悩み		1・②・3・4・5							
3) 県下の各種イベントに参加して自然エネルギーの普及及び活用、管理などを説明。例年出展している「ほどがや区民まつり」は出展料高騰につき、不参加とした。		アジェンダの日2014に出展。会場の象の鼻パークは見学者少		1・2・3・④・5							
		ひらつか環境フェアに出展		1・2・3・④・5							
		青少年のための「科学の祭典」、ほどがやまなぶん祭りに出展		1・2・3・④・5							
4) 会員および一般市民との交流や支援活動、出前講座等		ワークショップ「出前発電所をつくろう！」を6回開催		1・2・3・④・5							
		フォーラム神奈川2015の開催		1・2・3・4・⑤							
		見学会		1・2・3・4・⑤							
各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
<p>・交付金縮小による財政難、寄付も期待薄。この状態では、イベントの参加、企画の立案などについて考え直さなければならない。ボランティア交通費も出せない</p> <p>・世話人の高齢化で、世代交代が求められるが進まない。会員も高齢化で、退会者が増えていく。入会者は少なく、減少傾向が続く</p> <p>・イベントで地球環境の悪化、太陽光発電などの再生可能エネルギーについて単に訴えても、関心示す人はごく少数。活動の内容・目標を考え直す時期がきている</p> <p>【会員との交流について】</p> <p>・見学会を計画するにあたって、見学希望地と日程調整が難しい。○会員との連絡について、予算がないので、通信費が十分捻出できず、回数が増やせないのは困る</p> <p>・独自の説明会などを計画したいが、不特定多数の人を集めることは容易でない、そのうえ、会場費、講師料などが財政難で十分出せず、行き詰まる</p> <p>・毎年1月下旬に開催しているが、フォーラム会場、借料の安い公共施設は、1年前から県または市の後援を取り付けて予約をしなければならず、すでに埋まってしまかなか確保できない。後援を得て申請しなければならず会場確保が困難である</p> <p>・PV健康診断がいまだに回復しない現状に対して、会員の不満は激しく、退会するものもあり、会の今後に暗い影を落としている。入会者勧誘も鈍っている</p>											
活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月 毎月1回定例世話人会を開催する	7月 ・ひらつか環境フェア ・ワークショップ「出前発電所をつくろう！」企画募集開始	8月 ・青少年のための「科学の祭典」	9月 第6回ワークショップ「出前発電所をつくろう！」開催2回	10月 ほどがや区民まつり ・千葉3カ所のソーラーシアリング農場見学	11月 ・ほどがや「まなぶんまつり」に出展	12月 ・ワークショップ「出前発電所をつくろう！」開催	1月 ・フォーラム神奈川2015開催。午前中は市民発電所勉強会	2月 ・環境教育出前講座に応募	3月 ・毎月世話人会を開く	4月 ・ワークショップ「出前発電所をつくろう！」開催	5月 ・ワークショップ「出前発電所をつくろう！」を2カ所で開催

※全く達成できなかった: 1 達成できないことが多い: 2 最低限達成できた: 3 かなり達成できた: 4 十分達成できた: 5

山梨地域交流会

◆2014年度の活動の振り返り~Plan, Do, Check~		部会・地域名: 山梨	記入者: 芦澤 公子	作成日: 2015/5月							
◆2014年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった 2: 達成できないことが多い 3: 最低限達成できた 4: かなり達成できた 5: 十分達成できた							
1. 市民共同発電所事業 ~共同発電所の有効活用~											
LED工作教室の開催		中村豊春	1	2 3 4 ⑤							
見学会または学習会の開催		芦澤泰徳	1	② 3 4 5							
2. 組織強化~PVネットの周知~PV-net, PVGreenの利用普及											
PV-Greenの利用普及		芦澤公子・芦澤泰徳	1	② 3 4 5							
PV-netの周知・会員の拡大		中村豊春・前島弘一	1	② 3 4 5							
世話会の開催		芦澤公子	1	② 3 4 5							
3. 自治体他各種団体との連携											
他団体とネットワークして、今後の共同発電所設置の模索、災害時の有効活用の啓発等を行う		芦澤公子	1	2 ③ 4 5							
ライトダウン甲府バレーとの協働		中村豊春・小林延雄	1	2 3 4 ⑤							
「広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会」等各種プロジェクトなどへの参加。「NPO法人みどりの学校」と連携して、設置者の太陽光発電設備メンテナンスへの支援等		芦澤公子	1	2 3 4 ⑤							
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
1. 市民共同発電所事業 ~共同発電所の有効活用~ 新たな市民協働発電所の設置のあり方を考える。既存施設の更なる活用を考える											
2. 組織強化 ~PV-Netの周知~ PV-Netの存在意義が明らかにできれば会員拡大につながると思う(PV健康診断の完全復旧など)。ヴァンフォーレ甲府等、知名度の高い人気スポーツ、イベント等の場で利用されるよう働きかける											
3. 自治体他各種団体との連携 PVエネルギーは災害時にも強いことを理解してもらい、自立型PV蓄電システムを災害用備蓄品に入れるなど提案していきたい											
◆活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月 みどりの学校によるパワコン健診を年間を通じて呼びかけ協力	7月	8月	9月	10月 12日ライトダウン八代会場を担当してLEDライト作り・星空観望会など行った	11月	12月	1月	2月	3月 4日やまなしエコネット「ワーク主催環境セミナー」にてPV-Green周知	4月	5月 世話人に2014活動報告・2015計画メールにて確認

中部地域交流会

◆2014年度の活動の振り返り(Plan)、(Do)、(Check)				部会・地域名:				記入者:				作成日:2015											
2014年度の活動目標や活動計画(Plan)								担当・該当企画など(Do)								各項達成度(Check)							
												○で囲む・・・※											
1. 世話人会の開催 毎月				武田								5											
2. 見学会等の開催				大友								4											
3. 調査研究				吉田								3											
4. 暮らし方交流会の開催				武田								5											
5. 財政基盤の確立				陣野								3											
各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題(Check)																							
毎月の世話人会開催は実現したが、参加者は最高5名。予算の関係もあるが、広報のあり方をもう少し議論していきたい。																							
活動記録(*概要を書き込み、全体像を記録してください)(Do)																							
6月		7月		7月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月	
		アンペアの目安資料作り								静岡・市民共同発電所見学会		第9回暮らし方交流会								電線のない家見学会			

※全く達成できなかった: 1 達成できないことが多い: 2 最低限達成できた: 3 かなり達成できた: 4 十分達成できた: 5

宮崎地域交流会

◆2014年度の活動の振り返り(Plan)、(Do)、(Check)				部会・地域名:宮崎				記入者:楠見 博				作成日:2015/5/23													
2013年度の活動目標や活動計画(Plan)								担当・該当企画など(Do)								各項達成度(Check)									
												○で囲む・・・※													
PV-NET会員の拡大				役員全員								1・2・③・4・5													
宮崎県・宮崎市・都城市・日南市・川南町等との連携イベント				役員全員								1・2・3・4・⑤													
太陽光発電の相談窓口常時開設				役員全員								1・2・3・4・⑤													
太陽光発電の自立運転と省エネの啓発				役員全員								1・2・3・4・⑤													
太陽光発電の屋根貸し事業(ホームページに遊休地・屋根貸しする物件の情報を提供し、施工業者とのマッチングを行う)				役員全員								1・2・3・4・⑤													
省エネセミナーの開催				役員全員								1・2・3・4・⑤													
各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題(Check)																									
<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県地球温暖化防止活動センターと宮崎県環境情報センターと連携してPV-Greenの説明会を実施していく。 生活スタイルの見直し、省エネの重要性について啓発していく。 災害時の太陽光発電の活用法について説明会を実施していく。 太陽光発電の屋根貸し事業(遊休地・屋根貸しする物件をホームページに情報提供し、施工業者とのマッチングを行う。) 太陽光発電相談窓口をホームページで常時受付する。 																									
活動記録(*概要を書き込み、全体像を記録してください)(Do)																									
6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月			
宮崎市環境フェア出展 事業者向け省エネセミナー開催		串間市立市木小学校出前授業 太陽光発電相談会、役員会議		都城市安久町正応寺子供会出前授業 グリーンパークえびのサーマースクール		宮崎県太陽電池・半導体関連産業振興協議会開催 都城市庄内町持永邸太陽光出前講座		県トラック協会環境まつり出展 川南町子どもフェスタ出展 都城市の環境まつり出展		太陽光発電セミナー 太陽光発電相談会 県教育フェスティバル出展 県テクノフェア出展		太陽光設備管理技術セミナー開催 宮崎市出前授業 県立図書館太陽光出前講座		事業者向け省エネセミナー開催 太陽光発電相談会		九州小学生柔道大会でソーラーパッチ製作教室を開催 太陽光発電相談会		県立延岡工業高校の太陽光発電活用エネルギー自給型開墾地見学会		都城市立有水中学校太陽光出前授業 役員会議				総会	

(5) 2014 年度各専門部会活動報告

	活動方針	評価	実績・コメント
相談室	PV 健康診断システムの再構築 ①相談員研修会による再教育・再周知 ②地域イベント（フォーラム、講習会等）での普及	×	PV 健康診断システムの復旧が遅れていることで、稼働を前提とした活動計画はすべて未達成となりました。 相談活動は事務局でのソーラーヘルプデスクが継続されているほか、各地域における相談活動もバラツキはあるものの実施されています。
	管理ページの地域アクセス ①地域アクセスに関する運用講習会の開催 ②ソーラーヘルプデスクの地域分散対応 ③PV カルテ未登録者の解消活動	×	
	相談員の人材確保 ①地域養成講座の支援 ②センター支援機能・ツールの充実	×	
	相談活動・ソーラーヘルプデスク活動の実施	○	
組織部	会員 3,000 名組織の達成	×	住宅用 PV 設置者は、拡大のピークを過ぎたものの、まだまだ増やすことは可能であることから、理事会等でも常に会員拡大を意識し、会費や会員サービスも含めた具体的な意見交換を続けています。
	未組織地域の組織化	△	市民共同発電所の完成をきっかけに、四国や岡山などで、組織化に向けた準備が始まっています。
	地域活動のサポート	△	積極的に地域に足を運び、Face to Face のコミュニケーションを取るよう心がけましたが、まだまだコミュニケーション不足の地域も少なくありません。
	地域活動を全国で共有するための交流・広報強化	○	地域のイベントは、事務局の事前の告知協力を強化し、早いタイミングでウェブや Facebook で内容を紹介してきました。
財政部	会費徴収の適正化	△	効率的な財政運営に努めてきましたが、新たな事業収益の確保もままならず、厳しい財政状況を好転させるには至っていません。一方で、課題となっている新たな収益事業の可能性および、会費や寄付といった支援性の資金拡大のための施策について、検討を行いました。
	補助金の獲得	×	
	地域会計担当対象の NPO 法人会計研修会の実施	×	
PV-Green 事業部	現状のグリーン電力証書市場の動向を見極め、先手を打つ具体的施策を固める	△	他社が証書事業から撤退するなか、PV-Net は継続の意思を固めましていますが、現状の在庫を減らす妙案はまだありません。
	会員自らが環境価値の考え方を周囲に広め、利用・販売していく意識を持ってもらうためのツールを準備する	△	現在、販売用リーフレットを制作中です。
	過去の発電分の在庫を活用・整理する対策を進める	×	人員不足のため、営業力が弱く、また認証後の事務作業における効率化も実現できていません。
	主催イベントや、参加依頼のあったセミナー・イベント等で PV-Green の利用を要請する	○	センター主催および参加イベントで、約 1,000kWh 分の PV-Green を利用。エコプロ展では、クリスマスカード型の個人向け証書の販売を行いました。
	会員に向けて、販売状況を会報等で報告する	△	会報 29 号で販売実績と交付実績の近況を公表しましたが、問い合わせが多く、未だわかりやすい報告ができていません。
	ネット上に販売トピックスの広報を行う	○	年間の露出量は前年よりも増えました。
普及広報部	ファンドレイジング（資金調達）と一体となった情報発信	○	PV-Net のファンを増やすことを目的に、見る人にとってわかりやすく、使いやすいウェブサイトの制作に着手しています。また、年初に実施した「寄付のお願い」では、上半期活動報告書を作成・添付することで、多くの賛同を集めることができました。
	地域交流会の情報発信サポート	△	ウェブサイト・Facebook などを通じて、地域主催イベントなどの告知・広報協力を行っていますが、地域との連携・コミュニケーション不足もあり、十分にサポートできているとはいえない状況にあります。

3 号議案 2015 年度活動方針

(1) 大方針

太陽光発電システムの価値と質を高める活動をととして、市民参画型のエネルギー社会実現に寄与する (継続)

固定価格買取制度（FIT）の導入は、再生可能エネルギーのなかでも自在性と地域性と経済性という点で、太陽光発電が急激に拡大する結果となりました。この急拡大にはひずみが含まれており、新たな問題が露呈することが予測されています。発送電分離を含む電力自由化への市民目線を持った対応は、会員の利益を守るとともに社会的役割としても強く PV-Net に求められ、発電量の長期に渡る確保や、これまでの蓄積の上の不具合時の新しい次元の対処も同時に求められています。市民ファンドサポートセンターの活動の上に新電力の活用を始めとする取り組みを会員、地域交流会と共に進め、地域の力を引き出す役割を図っていきます。

また、これらの活動を支える財政基盤の確立は急務であり、事業性の重視や積極的な会員ニーズに合わせた会員拡大と専門家を入れた財源確保（ファンドレイジング）など視点を変えた取り組みを同時に進めます。そして当然の役割として、国のエネルギー政策への市民からの提言や、PV 健康診断などを活用した地域への提案と浸透を図り、5 年後の会員 1 万人体制へとつなげる努力をしていきます。

(2) 活動面での重点活動

2014 年度の重点活動として掲げた活動は、近年 PV-Net が注力する方向性と合致する活動であり、継続的な取り組みが期待されています。2014 年度に掲げた重点活動、太陽光発電システムの取扱いに関する質を向上するための運用上の注意事項（メンテナンス手法、自立運転、災害時の取扱いなど）の啓発活動、太陽の恵みを基盤としたソーラーライフ提唱・発信、自然エネルギーの地産地消、地域経済の活性化、地域の人と人、笑顔を繋げる活動として地域発電所の創造的サポート、をセンター・地域活動共に引き続き実施していきます。加えて、新たに太陽光発電システムのリユース、リサイクルの問題や電力自由化に向けた勉強会などにも積極的に取り組んでいきます。

1. 太陽光発電のシステムメンテナンスの徹底・拡大

① 診断システムの普及と利用者の拡大

センター：推定発電量表示の復旧、近隣比較の活用広報

地域：PV 診断システムの活用促進、近隣比較の活用促進

② 発電システムの質と価値を高める講座の開発と開催

センター：発電システムの質と価値を高める講座の開発、地域と共同実施

地域：講座の開発

③ 発電システムリユース活動の推進

センター：調査の実施、相談窓口の開設

地域：リユースパネル活用の実践

2. ソーラーライフの提唱・普及

① ソーラーライフの普及広報活動

センター：ホームページコンテンツの充実、自然エネルギー学校の開催

地 域：ホームページコンテンツ情報の提供、独立型 PV ワークショップの開催

② グリーン電力証書事業の積極的な推進と活動の見直し

センター：活用のためのツール制作、グリーン電力証書の利用促進活動、販売活動

地 域：グリーン電力証書の利用促進活動、販売活動

(3) 組織運営面での重点活動

地域、センターがそれぞれで自立的な活動を展開していくなか、地域とセンター、そして地域間連携が活動の質を上げるために重要になってきています。情報共有面だけでなく、ともに汗を流す協働活動にも改めて取り組んでいく方向です。

1. 地域・センターおよび地域関連携の強化

センター：地域代表者会議の開催（2回／年）、地域交流会活動への参加、協働事業の実施

地 域：地域間協力の活性化

2. 会員拡大

センター：正会員・賛助会員の獲得、地域の会員獲得支援

地 域：正会員、賛助会員の獲得

(4) 2015 年度各地域交流会活動方針

茨城地域交流会

1. 新会員・世話人の開拓
2. 世話人会を誰でも参加できるようにして、充実させる
3. シェアソーラー企画の推進
4. 発電実績募集を会員に向け発信
5. 見学会・勉強会の実施

群馬地域交流会

まずは集まることを基本とし、世話人会の再建を進めます。機会に恵まれないことも考慮し、地理的に近い世話人同士のコミュニケーションの活性化に寄与するべく、情報の提供に努力します。また、センター実施による全国的な学習の機会に積極的に参加します。

埼玉地域交流会

1. 会員拡大の活動を推進
 - ① PV 健康診断の活用と情報提供を中心に活動
 - ② 埼玉のホームページのリニューアル
2. 市民共同発電所設置に協賛・協力
 - ① 地域の団体との協力
 - ② 独自の設置を検討
3. 長期設置者のメンテナンス支援&防火対策支援
 - ① 保障期限前の定期点検実施支援
 - ② 相談会・講演会での啓蒙、展開
4. 各種団体とのイベント開催
 - ① 県・自治体と協働・連携しイベントに参加
 - ② 見学会・フォーラムの開催による会員交流の場の提供
5. 「自分で独立型太陽光発電所を作ってみましょう」講座の開催
自分で作ることで PV システムの理解を深めることを目的とします

千葉地域交流会

1. 地域フォーラムの開催（自治体との連携）と
自然エネルギーを広めるネットワークちば（Renet Chiba）& 市民エネルギーちば合同会社への協力
 - ① 印西市「省・創・蓄エネフォーラム」（11 月）
 - ② 世話人会（原則毎月第 1 土曜開催）
 - ③ 定例会、企画イベントへの参加（毎月）
 - ④ 市民発電所づくりへの協力
2. イベント出展（他団体との連携）
 - ① エコフェアいちばら（6 月 13 日）
 - ② 浦安市環境フェア（6 月 28 日）
 - ③ エコ Messe 2015 in ちば（9 月 23 日）
 - ④ アースデイちば 2016（5 月）
 - ⑤ 他団体勉強会等の講演
3. 職業能力開発促進センターへ講師派遣
 - ① 住宅エコ電気設備施工講座（8 月、3 月）
 - ② 太陽光発電セミナー講座（11 月、5 月）

東京地域交流会

1. 地域密着型の太陽光発電所普及事業の強化

前期に引き続き地域の市民団体と連携し、ソーラー啓発活動と、市民共同発電事業、個人住宅設置支援事業を進める。特に今期は PV-Net 全体の運営と連携して、東京地域での市民共同発電所設置の推進や独立型の PV 製作講座などで啓発活動を重点活動とする。

2. 財政基盤強化

市民共同発電所設置の支援や、前期好評であった独立型の PV 製作講座などで、地域活動での財政基盤を強化できるスキームを確立する。

3. 活動 PR・会員拡大

PV-Net の活動を対外的に PR し、会員を拡大する。自宅の屋根を持たない多くの都民に対し、各展示会などで独立型 PV 制作講座や共同発電所の提案などを通して PV-NET の活動を普及する。

4. 組織活性化

会員の要望に沿った企画をフォーラム東京等で実施し、会員のコミュニケーションを強化する。また、各地の商工会議所なども連携を図り、宣伝掲載や活動支援などで財政支援を図る。

神奈川地域交流会

1. 神奈川地域交流会独自計画

- ① フォーラム神奈川 2016 (3月26日) ② 見学会
- ③ 神奈川交流会情報誌「PV神奈川～ニュースレター～」発行

2. 県内地域の環境イベントに出展して、太陽エネルギーの普及活動をする。ただし、交付金縮小により、出展等の費用、その他活動費の目途が立たないため、事前計画ができない。

- ① 横浜市の学校等出前講座に応募中

山梨地域交流会

1. 市民共同発電所事業 ～共同発電所の有効活用～

- ① イベントの開催 (11月7日) ② 見学会または学習会の開催 (12月～2月)

2. 組織強化 ～PV-Net の周知、PV-Green の利用普及～

- ① PV-Green の利用普及

(ヴァンフォーレ甲府公式戦：6月27日、甲府市環境リサイクルフェア：11月8日、ほか通年)

- ② PV-net 周知・会員の拡大 (通年)

- ③ 世話人会の開催 (7月、10月、1月、4月)

3. 各種団体との連系

- ① 他団体とネットワークして、今後の共同発電所設置の模索、災害時の有効活用の啓発等を行う (通年)

- ② ライトダウン甲府バレーとの協働 (11月7日)

- ③ 「広がり！小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会」等各種プロジェクトへの参加 (ブース出展：9/12ほか通年)

「NPO 法人みどりの学校」と連携して、設置者の太陽光発電設備メンテナンスへの支援等 (通年)

静岡地域交流会

1. 会員拡大を進め、早期に 300 名組織達成を目指します。
2. 引き続き、世話人会の充実を図ります。特に中部・西部で独立した世話人会活動ができるようになることを目指します。
3. 市民共同発電所の健全な建設・運営を進めるとともに、5 号機の「市民農園」の円滑な運営を目指します。
4. 自治体（市町環境フェア）および他団体との協働
 - ① 静岡地球温暖化防止活動センターとのコラボ、沼津市エコプロジェクト支援制度への応募など
 - ② 各種イベント（共立病院ピースフェア・ひまわり集会・三島大社祭りなどへの参加とステージ電源の供給）
5. 設置から 10 年を超える会員が増えるなか、設備の不具合が増えてくることが予想されます。会員へのサービスとして、設備の無料点検を期間限定で実施します。
6. フォーラム・見学会の実施。（8 月 10～11 日には中之条町の発電所見学会を計画中）

中部地域交流会

1. 第 10 回暮らし方交流会開催（11 月、規模 30～50 人）
2. 世話人会の定期開催（毎月）
3. オフグリッドの仲間づくり ① 学習会（11 月） ② 見学会（5 月） ③ 交流会（3 月）

関西ブロック協議会（関西地域交流会&大阪地域交流会）

1. 活動を継続するためには財政的な裏付けが重要であることから、活動に適切な助成金獲得を積極的な取り組み。
2. 和歌山でスタートする市民発電所など、関西ブロックが手がける市民発電所事業について、さまざまな形でサポート・協力をを行う。
3. ハード面を得意とする PV-Net だが、賛同者・協力者を増やすためには、自然エネルギーを生活に取り入れた豊かなライフスタイルのあり方といったソフト面が欠かせない。エネルギーに関するワールドカフェ（エネルギーカフェ）などを通じて、エネルギーの使い方を生活者に提案していく。

兵庫地域交流会

1. 地球温暖化防止啓発活動
 - ① 太陽光発電設備の普及を促すためのフォーラムを 1 回開催する（12 月 6 日）
 - ② 創エネ・畜エネ・省エネについての知識を得る勉強会（6 月 19 日、3 月）、再生可能エネルギーによる発電事例を学ぶ見学会（9 月）を開催する。
 - ③ ひょうご環境創造協会・再生可能エネルギー相談支援センターの現地相談制度にコンサルタントとして協力する。
 - ④ ホームページ、Facebook を活用して、太陽光発電の発電に関する情報の共有を図る。
2. 安定収益基盤の確保
 - ① ドコモ市民活動団体への助成申請 ② ひょうご環境保全活動助成金の申請 ③ 太陽光共同発電所の運用
3. 地域交流会活動基盤確立（通年）
 - ① 世話人会開催 ② イベント企画 ③ 技術ノウハウの習得

九州地域交流会（&福岡地域交流会）

1. センターとの協働のもと、組織体制を見直します。
2. センターとの協働のもと、グリーン電力証書の九州内での販売を強化します。
3. 九州ソーラーネットワーク（SONEQ）との連携活動を行います。

宮崎地域交流会

1. PV-Net 会員の拡大
 - ① 世話人会を 2 か月ごと、年 6 回開催
 - ② PV-Net 会員の交流会を年 2 回開催（8 月、2 月）
 - ③ PV-Green 説明会の開催（8 月、2 月）
 2. 会の知名度の向上
 - ① 宮崎県、宮崎市、都城市、日南市、川南町等との連携イベント（7～11 月）
 - ② マスコミへの働きかけ（通期）
 3. 新エネ・省エネ普及
 - ① 太陽光発電の相談窓口常時開設、太陽光発電の自立運転啓発（通期）
 - ② 省エネセミナーの開催（6 月、2 月）
-

(5) 2015 年度各専門部会活動方針

組織部

1. (1) 会員中心主義。
(2) 参画型運動の強化。
(3) 地域交流会および地域ブロックを土台にした組織部の運営を確立します。
2. (1) 意思決定機能の強化。
(2) 地域的特性の尊重と組織全体への俯瞰的視点に立った組織部の機能強化ならびに理事会機能を確立します。
3. 地域交流会の運動の強化につながる財政活動の確立と PV-Net 会員数の拡大に努力します。

まずは短期的視点に立った年度方針を上記に掲げるとともに、中長期的な活動方針として以下を策定します。

- ① 地域交流会および関東・中部・関西ブロックとセンター事務局の連携を強化しながら、市民ファンド・市民発電所運動のサポート、PV 健康診断の復活と近隣比較を組み合わせた会員サービス、ソーラーライフスタイルの創業者実践、再生可能エネルギー社会の創設等々、PV-Net の社会的貢献度をさらに高める活動を今後も推進します。
- ② 各都道府県に地域交流会を立ち上げ、地方の地域交流会をブロック化し、これまでセンターに集中した PV-Net 機能の地方分散化を目指します。
- ③ 全国各地にソーラーライフスタイルを目指す市民・生活運動の発展を課題に、エネルギー地産地消運動の一角を担い、地域活性化に貢献します。

相談室

1. 新 PV 健康診断システムの普及
 - ① 相談員研修会による再教育・再周知
 - ② 地域イベント(フォーラム、講習会等)での普及
2. 管理ページの地域アクセス
 - ① 地域アクセスに関する運用講習会の開催
 - ② ソーラーヘルプデスクの地域分散対応
 - ③ PV カルテ未登録者の解消活動
3. 相談員の人材確保
 - ① 地域養成講座の支援
 - ② センターの支援機能・ツールの充実
4. 相談活動・ソーラーヘルプデスク活動の実施

財政部

前年度に引き続き、効率的な財政運営に努めます。また、組織部及び各地域交流会と連携し、会費未納会委員の解消に努めます。新たな事業収益の確保に向けた調査・研究に取り組むこととします。

PV-Green 事業部

1. 組織的な販売施策の実行
2. 電力自由化など、社会経済情勢の変化を踏まえた事業の見直し

普及広報部

《新ウェブサイトと IT ツールの活用による PV-Net の認知度 & 成果向上》

昨年度実施した会員アンケートの結果、社会の PV-Net に対する認知度が低いという声が多かったことから、今秋リニューアルオープン予定のウェブサイトをフル活用し、会の知名度アップに努めます。具体的には、ブログやソーシャルメディア、その他広報ツールなど IT を活用することで PV-Net の情報を蓄積・拡散すること。さらには、アクションにつなげる情報発信を目指し、会員数や寄付額を増やすといった「成果」に結びつけます。

事業検討部

1. 事業性のある活動の中から、収益性の観点から見て優先順位をつける。
2. 新規事業の事業計画を策定する。
3. 来季初めに一事業を開始することを目標とする。
4. 都度、活動できる方メンバーを募集していく。

5 号議案 定款変更

定款変更案新旧対照表

改訂前	改訂案	変更理由
<p>(会費等の不返還)</p> <p>第 11 条 本会は、既に納入された会費その他の拠出金品は返還しない。</p>	<p>削除 (以下、条ずれ)</p>	<p>NPO 法の改正等に 伴う変更</p>
<p>(開催)</p> <p>第 22 条 通常総会は、毎年 1 回、毎事業年度終了後 2 ヶ月以内に開催する。</p> <p>2 (略)</p> <p>(1) ~ (3) (略)</p>	<p>(開催)</p> <p>第 21 条 通常総会は、毎年 1 回、毎事業年度終了後 3 ヶ月以内に開催する。</p> <p>2 (略)</p> <p>(1) ~ (3) (現行どおり)</p>	<p>地域と本部の会計報告の集約等に時間を要するため、総会開催時期に幅をもたせることが可能な実態に則した運用が求められる。</p>
<p>(資産の構成)</p> <p>第 42 条 本会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。</p> <p>(1) ~ (3) (略)</p> <p>(4) 事業に伴う収入</p> <p>(5) 資産から生じる収入</p> <p>(6) その他の収入</p>	<p>(資産の構成)</p> <p>第 41 条 本会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。</p> <p>(1) ~ (3) (現行どおり)</p> <p>(4) 事業に伴う収益</p> <p>(5) 資産から生じる収益</p> <p>(6) その他の収益</p>	<p>NPO 法の改正等に 伴う変更</p>
<p>(暫定予算)</p> <p>第 49 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出をすることができる。</p>	<p>(暫定予算)</p> <p>第 48 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。</p>	<p>NPO 法の改正等に 伴う変更</p>
<p>(予備費の設定及び使用)</p> <p>第 50 条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。</p> <p>2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。</p>	<p>削除 (以下、条ずれ)</p>	<p>NPO 法の改正等に 伴う変更</p>
<p>(解散)</p> <p>第 55 条 本会は、次に掲げる事由により解散する。</p> <p>(1) ~ (4) (略)</p> <p>(5) 破産</p> <p>(6) (略)</p> <p>2 (略)</p>	<p>(解散)</p> <p>第 53 条 本会は、次に掲げる事由により解散する。</p> <p>(1) ~ (4) (現行どおり)</p> <p>(5) 破産手続開始の決定</p> <p>(6) (現行どおり)</p> <p>2 (現行どおり)</p>	<p>NPO 法の改正等に 伴う変更</p>
<p>(残余財産の帰属)</p> <p>第 56 条 本会が解散 (合併又は破産による解散を除く。)したときに残存する財産は、総会に出席した正会員の過半数の議決を経て選定された特定非営利活動法人又は社団法人、若しくは財団法人に譲渡するものとする。</p>	<p>(残余財産の帰属)</p> <p>第 54 条 本会が解散 (合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。)したときに残存する財産は、総会に出席した正会員の過半数の議決を経て選定された特定非営利活動法人又は社団法人若しくは財団法人に譲渡するものとする。</p>	<p>NPO 法の改正等に 伴う変更</p>

●4号議案 PV-Net2015年度予算案

○収入の部

経常収入の部		金額	備考欄
基礎収入	会費収入	6,600,000	個人会費(600)、賛助会費(60)
	寄付金収入	1,500,000	
	基本収入合計(A)	8,100,000	
事業収入	環境省G電力買取事業	2,100,000	委託業務:確定:環境省
	自治体G事業	1,228,000	委託業務:確定:委託業務 葛飾(200)大垣(90)
	PV-Green事業	2,000,000	自主事業:手数料収入
	市民ファンドSC事業	1,100,000	自主事業:香川、岡山、和歌山、岩手県、その他
	市民共同発電所事業	600,000	自主事業:静岡伊豆の国、小諸エコビレッジ発電所
	普及啓発事業	4,500,000	講師派遣、イベント収益、物品販売、広告収入、その他普及啓発事業
	その他事業	13,000,000	メンテナンス事業(200)、NEDO補助事業(1,000)その他(100)
	助成収入	6,600,000	E基金(200)、元気作り支援金(110)、その他(350)
	雑収入	300,000	
事業収入合計(B)	31,428,000		
収入合計(A)+(B)		39,528,000	

○支出の部

経常支出の部		金額	備考欄
管理費	(1)人件費		
	給与手当	2,500,000	通勤交通費含む
	有償ボランティア費	1,800,000	通勤交通費含む
	法定福利費	330,000	
	福利厚生費	30,000	
	人件費合計	4,660,000	
	(2)その他経費		
	会議費	360,000	総会(60)+理事会(50)
	旅費交通費	100,000	
	通信費	280,000	
	事務用品等・備品費・修繕費	65,000	
	印刷費	10,000	
	賃借料(リース料)	180,000	
	地代家賃・光熱費・修繕費	555,000	
	支払手数料	105,000	
	雑費	20,000	
	租税公課	180,000	都民税+消費税
	その他経費合計	1,855,000	
	管理費合計(A)	6,515,000	
事業費	(1)人件費		
	給与手当	5,500,000	通勤交通費含む
	有償ボランティア費	6,000,000	通勤交通費含む
	法定福利費	660,000	
	人件費合計	12,160,000	
	(2)その他経費		
	自治体G、環境省G電力買取事業	250,000	
	市民共同発電・ファンド事業	200,000	
	PVGreen事業	770,000	
	普及啓発事業	2,800,000	会報2回×(35)、HP製作(30)、出展料等
	組織交流活動費	1,000,000	
	相談活動費	100,000	
	助成活動	2,000,000	E基金、元気作り等
その他受託事業	2,200,000		
事務所経費	3,353,000		
その他経費合計	12,673,000		
その他の支出			
未払金支払	3,180,000	未払金決済	
借入返済	5,000,000		
事業費及びその他支出合計	8,180,000		
支出合計(B)	33,013,000		
支出合計(A)+(B)		39,528,000	

●6号議案 役員改選 & 評議員選任案

(1) 理事

役職	氏名	現役職	所属	備考	推薦枠	
理事	藤井石根	代表理事		継続	理事推薦枠	
	都筑建	代表理事		継続		
	横谷公雄	副代表理事	神奈川	継続	関東	地域枠 (兼専門枠)
	梅澤耕一郎		群馬・財政部	継続		
	高柳良大		東京・事業部	新規		
	松田廣行		埼玉・普及広報部	継続		
	駒崎茂		埼玉	新規		
	伊藤博文		静岡	新規		
	武田善明		中部	継続		
	三石博行	副代表理事	関西ブロック ・組織部	継続	関西	
	森岡秀幸		大阪	継続		
	伊藤麻紀	専務理事	事務局	継続	事務局枠	

(2) 監事

監事	吉永光伸		栃木	継続	—
	芦澤公子		山梨	継続	

(3) 評議員

氏名	所属	備考
黒川 浩助	東京工業大学ソリューション研究機構特任教授	再任
小林 光	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授	再任
鈴木 基之	東京大学名誉教授	再任
中島 康孝	工学院大学名誉教授	再任
牛山 泉	足利工業大学学長	再任

退任役員

氏名	所属	役職	備考
國井範彰	埼玉・相談室	理事	退任
藤井和貴	事務局・組織部	理事	退任
加藤聡	事務局・普及広報部	理事	退任

収 支 計 算 書

(自)平成26年 6月 1日 (至)平成 27年5月31日

科 目	予算額(a)	実績額(b)	差異(b)-(a)	到達率	備考
I 経常収入の部					
1 会費収入	6,600,000	4,128,000	▲ 2,472,000	62.5%	個人会員、賛助会員
2 寄付金収入	1,200,000	944,662	▲ 255,338	78.7%	
3 事業収入			0		
自治体G電力事業	2,600,000	3,032,450	432,450	116.6%	委託：葛飾区(225)、大垣市(82)
環境省ソーラー価値買取事業	1,600,000	1,641,600	41,600	102.6%	委託：環境省
市民ファンドサポートセンター事業	5,000,000	5,026,223	26,223	100.5%	自主事業：香川、岡山、和歌山サポート費(350)
市民共同発電所事業	2,000,000	1,584,653	▲ 415,347	79.2%	売電収入：小諸(70)、静岡(88)
PVG事業収入	3,600,000	1,084,378	▲ 2,515,622	30.1%	手数料収入のみ
普及啓発事業(講師派遣等)	5,500,000	4,957,852	▲ 542,148	90.1%	講座開催、講師派遣/東都生協ソーラー普及事業、自然エネルギー学校(小諸エコビレッジ)、物品販売等
その他事業	5,550,000	363,155	▲ 5,186,845	6.5%	委託、助成事業等
4 助成金収入			0		
センター助成金	1,000,000	960,000	▲ 40,000	96.0%	助成：パナソニック助成金
地域助成金収入	200,000	55,298	▲ 144,702	27.6%	関西(大阪府5)
5 雑収入	150,000	220,511	70,511	147.0%	受取利息等
6 借入金収入	0	800,000	800,000		
7 預金取崩し額					※予算案予備費として計上
経常収入合計(A)	35,000,000	24,798,782	▲ 10,201,218	70.9%	
II 経常支出の部					
1 事業費					
1) 人件費					
給与手当	6,000,000	4,791,150	▲ 1,208,850	79.9%	
有償ボランティア費	5,000,000	4,348,938	▲ 651,062	87.0%	
法定福利費	600,000	699,274	99,274	116.5%	
人件費計	11,600,000	9,839,362	▲ 1,760,638	84.8%	
2) その他経費					
組織交流活動費	2,600,000	952,369	▲ 1,647,631	36.6%	地域交流会費用、組織部費
普及啓発事業費	2,400,000	2,767,875	367,875	115.3%	普及広報部(会報関連、出展イベント費用等)、普及啓発事業(講師派遣、東都生協ソーラー普及事業、小諸エコビレッジ等)
自治体G電力事業/環境省G買取事業	1,300,000	1,241,782	▲ 58,218	95.5%	委託：葛飾区、大垣市、環境省
PVG事業費	3,000,000	720,287	▲ 2,279,713	24.0%	自主事業
市民共同発電所事業	1,800,000	299,152	▲ 1,500,848	16.6%	静岡、野田村、サポート事業
市民ファンドサポート事業	2,150,000	618,939	▲ 1,531,061	28.8%	
その他の事業	3,200,000	1,434,377	▲ 1,765,623	44.8%	地域助成金活動、地域イベント費等
相談室活動費	300,000	93,840	▲ 206,160	31.3%	相談室交通費
財政部費	30,000	0	▲ 30,000	0.0%	
事業部門間接諸経費(事務所費)	0	2,761,263	2,761,263		地代家賃(116) 租税公課(42)、リース(40) 通信費(28)
その他経費計	16,780,000	10,889,884	▲ 5,890,116	64.9%	
2 管理費					
(1) 人件費					
給与手当	2,500,000	2,500,000	0	100.0%	法定福利費含
有償ボランティア費	2,000,000	2,000,000	0	100.0%	
法定福利費	300,000	300,000	0	100.0%	
福利厚生費	30,000	40,042	10,042	133.5%	
人件費計	4,830,000	4,840,042	10,042	100.2%	
(2) その他経費					
会議費	360,000	771,887	411,887	214.4%	総会、理事会費用
旅費交通費	90,000	42,854	▲ 47,146	47.6%	
通信費	280,000	120,130	▲ 159,870	42.9%	
賃借料(リース料)	180,000	170,987	▲ 9,013	95.0%	複合機リース料
印刷費	10,000	6,645	▲ 3,355	66.5%	リソグラフ
備品・消耗品費・備品費	75,000	31,684	▲ 43,316	42.2%	
地代家賃・光熱費・修繕費	555,000	550,098	▲ 4,902	99.1%	
支払手数料	105,000	121,931	16,931	116.1%	顧問弁護士料等
雑費・雑損益・支払利息	15,000	197,906	182,906	1319.4%	
租税公課費	120,000	179,819	59,819	149.8%	都民税、消費税等
その他経費計	1,790,000	2,193,941	403,941	122.6%	
3 予備費		0	0		
4 差入保証金投資支出		50,000	50,000		
5 借入金返済支出		1,280,000	1,280,000		短期借入金(80)長期借入金(48)
当期支出合計(B)	35,000,000	29,093,229	▲ 5,906,771	83.1%	
当期収支差額(A)-(B)	0	▲ 4,294,447			

正味財産増減計算書

(自) 平成 26年 6月 1日 (至) 平成 27年 5月 31日

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	0	
期末棚卸商品	1,102,700	
出資金増加額	50,000	1,152,700
2 負債減少額		
短期借入金減少額	0	
長期借入金減少額	480,000	808,000
増加額合計額		1,632,700
II. 減少の部		
1 資産減少額		
当期収支差額	4,294,447	
期首棚卸商品	1,199,050	
減価償却費	814,234	6,307,731
減少額合計		6,307,731
当期正味財産増加額		△ 4,675,031
前期繰越正味財産額		4,787,207
期末正味財産合計額		112,176

科 目		金 額	
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	(外崎 幸氏より)	7,000,000	7,000,000
未払費用	地域交流会費用	507,545	
	給料未払い分	2,620,271	
	交通費(組織診断)	52,760	3,180,576
前受金	2015年度以降の会費	1,170,000	1,170,000
仮受金		0	0
預り金	給与源泉税	119,547	
	報酬源泉税	7,862	
	住民税	33,300	
	雇用保険料	11,686	
	社会保険料	164,218	
	その他(弁護士顧問料)	60,000	
	その他	131,295	527,908
証書預り金(PV-Green)		1,124,755	1,124,755
基金預り金(PV-Green)		2,516,841	2,516,841
流動負債合計			15,520,080
2. 固定負債			
長期借入金	(静岡市民共同発電所への出資金)	4,040,000	4,040,000
固定負債合計			4,040,000
負債合計			19,560,080

監査報告

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワークの平成26年度収支決算について、収支決算書に基づき関係帳簿および証票書類を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを認めます。

以上

《 監査年月日 》

平成 27 年 7 月 7 日

《 監事 》

氏名 吉 永 光 伸 

氏名 茅 澤 公 子 

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-10 湯島ビル 602

TEL:03-5085-3577 FAX:03-5085-3588

www.greenenergy.jp



本議案書の印刷に使用する電力は、PV-Net 会員の太陽光発電所から生まれた「PV-Green」を活用し、グリーン電力でまかっています